

授業科目の区分等： 教職科目 大学が独自に設定する科目

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
半期	1年	2	選択
担当教員			
松嶋 哲哉			
C (商学部)	T (教職科目)	ED (教育)	

授業のねらい (概要)	<p>【授業テーマ】 学校教育における道徳教育の可能性と課題</p> <p>【本授業のねらい】 道徳教育の意義や原理等を踏まえ、学校の教育活動全体を通じて行う道徳教育及びその要となる道徳科の目標や内容、指導計画等を理解するとともに、教材研究や学習指導案の作成、模擬授業等を通して、実践的な指導力を身に付ける。</p>
授業計画	<p>第1回 オリエンテーション／授業目標・進め方・シラバス説明・成績評価の方法 予習 (時間) : シラバスの熟読 (30) 復習 (時間) : 本科目の内容確認・リアクションペーパー記入 (30)</p> <p>第2回 今、何が道徳教育の問題か／学習指導要領の変遷と教育課程上の位置・道徳の教科化 予習 (時間) : 配布資料熟読 (120) 復習 (時間) : 学習内容のまとめ・リアクションペーパー記入 (120)</p> <p>第3回 道徳教育の歴史／学校における道徳教育の争点・戦前と戦後の道徳論争 予習 (時間) : 教科書第7章熟読 (120) 復習 (時間) : 学習内容のまとめ・リアクションペーパー記入 (120)</p> <p>第4回 道徳教育の目標・内容／道徳の時間の目標・推進上の基本的配慮事項 予習 (時間) : 「学習指導要領」熟読 (120) 復習 (時間) : 学習内容のまとめ・リアクションペーパー記入 (120)</p> <p>第5回 学校における道徳教育の課題／いじめ問題への対応 予習 (時間) : 配布資料熟読 (120) 復習 (時間) : 学習内容の復習・レポート作成 (120)</p> <p>第6回 道徳教育の指導計画／全体計画・年間指導計画・指導計画の作成と活用方法 予習 (時間) : 「学習指導要領」熟読 (120) 復習 (時間) : 学習内容のまとめ・リアクションペーパー記入 (120)</p> <p>第7回 道徳の指導法と実践 (1) / 指導過程・学習指導案・教材・授業書の作成 予習 (時間) : 教科書第5・6章熟読 (120) 復習 (時間) : 学習内容のまとめ・リアクションペーパー記入 (120)</p> <p>第8回 道徳の指導法と実践 (2) / 読み物資料・副読本の活用 予習 (時間) : 「私たちの道徳」熟読 (120) 復習 (時間) : 学習内容のまとめ・リアクションペーパー記入 (120)</p> <p>第9回 道徳の指導法と実践 (3) / 学習評価・ピアジェ・コールバーグの理論 予習 (時間) : 教科書第3章熟読 (120) 復習 (時間) : 学習内容のまとめ・リアクションペーパー記入 (120)</p> <p>第10回 道徳の指導法と実践 (4) / 構成的エンカウンター等の指導法 予習 (時間) : 配布資料熟読 (120) 復習 (時間) : 学習内容のまとめ・リアクションペーパー記入 (120)</p> <p>第11回 道徳の指導法と実践 (5) / モラルジレンマ授業の理論と実践 予習 (時間) : 配布資料の熟読 (120) 復習 (時間) : 学習内容のまとめ・リアクションペーパー記入 (120)</p> <p>第12回 道徳の指導法と実践 (6) / 視聴覚資料の活用・教材の開発 予習 (時間) : 配布資料の熟読 (120) 復習 (時間) : 学習内容のまとめ・リアクションペーパー記入 (120)</p>

	<p>第13回</p> <p>道徳の指導法と実践（7）／模擬授業①</p> <p>予習（時間）：学習指導案の作成（120） 復習（時間）：学習指導案の反省（120）</p> <p>第14回</p> <p>道徳の指導法と実践（8）／模擬授業②</p> <p>予習（時間）：学習指導案の作成（120） 復習（時間）：学習指導案の反省（120）</p> <p>第15回</p> <p>全体のまとめ／道徳教育と市民社会との今日的課題と動向について</p> <p>予習（時間）：配布資料の熟読（120） 復習（時間）：学習内容のまとめ（120）</p>
授業を通して身に付けることができる能力（DP）	本授業では、学生による主体的な学習を通じて、①情報の収集、分析を行い、進んで課題解決に臨む姿勢を身に付け、②教育に関する専門的分野の学びを、実務や社会で応用できる能力を身に付けることを目指す。
到達目標	（1）学校における道徳教育の争点を理解し、概要及び要点を説明できる。（2）道徳教育の目標・内容・指導計画を理解し、概要及び要点を説明できる。（3）道徳の時間の指導法の理論を理解し、概要及び要点について説明できる。（4）道徳教育のあり方について自分なりの考えを持つことができる。
課題や小テスト等のフィードバックの方法	課題や小テストについては授業内でフィードバックを行う。
履修上の注意	授業履修者数を参考にしながら、講義形式・グループ学習形式・ゼミ形式などの授業方法を適宜行う。
成績評価の方法・基準	具体的な到達目標にあげた項目を身に付けたかどうか試験やレポートを通じて確認する。最終レポート(定期試験として)60%、中間レポート課題30%、学修意欲10%。
教科書	特に指定しない。参考文献などは授業毎に示す。基礎的な参考文献は、「参考書」欄に示した通りである。
参考書・教材	<p>【参考書】【参考書】</p> <p>井ノ口淳三編（2016）『道徳教育 改訂版』学文社</p> <p>高橋陽一・伊東毅（2018）『道徳科教育講義』武蔵野美術大学出版局</p> <p>文部科学省（2014）『私たちの道徳』（文部科学省HPから最新版をダウンロード）</p> <p>【学習指導要領】</p> <p>「小学校学習指導要領」2017年（文部科学省HPから最新版をダウンロード）</p> <p>「中学校学習指導要領」2017年（文部科学省HPから最新版をダウンロード）【教材】授業毎にレジュメを配布するため、当該科目の独自ファイルを作成すること。</p>
備考	講義科目
教員との連絡方法	授業初回で、連絡先を示す。